

金峰山生物群集保護林

管轄森林管理局・署	中部森林管理局・東信森林管理署
所在地	長野県南佐久郡川上村
面積	433.38ha
設定年	平成29年4月1日
保護林の概要 (設定目的)	金峰山、朝日岳、国師岳等が連なる尾根筋の北斜面に、ハイマツ、シャクナゲ、ツガザクラ、コケモモ、トウヤクリンドウ、ガンコウラン等から構成される高山植物群落、その下部にカラマツ、オオシラビソ、シラビソ、コメツガ等の亜高山性針葉樹を主体とする植物群落があり、これらの生物群集を有する森林の保護・管理を図る。



モニタリング調査の概要

実施年度	令和4年度
調査項目	森林詳細調査、高山植生等調査、森林概況調査、資料調査、聞き取り調査
調査手法	森林詳細調査（毎木調査・植生調査）を4プロット、高山植生等調査（植生調査）を2プロットで実施し、過年度の調査結果と比較した。
結果概要	二ホンジカによる剥皮等がやや増加傾向であるものの、縞枯れ後の稚樹更新は正常に推移しており、高山植物群落への影響は現時点では見られなかった。 保護林周辺の二ホンジカの生息密度は高いため、注意が必要である。

※モニタリング調査の詳細情報については、森林管理局にお問い合わせください。